

27 最先端の「スマート農業」の技術開発・実証

【平成31年度予算概算決定額 3,106 (1,743) 百万円】
（平成30年度第2次補正予算額 6,153百万円の内数）

＜対策のポイント＞
ロボット・AI・IoT等の先端技術を活用した「スマート農業」の全国展開の加速化に資する技術開発・実証を推進します。

＜政策目標＞
農業の担い手のほぼ全てがデータを活用した農業を実践 [平成37年まで]

＜事業の内容＞

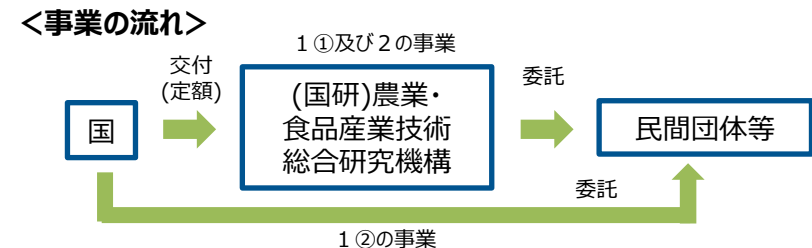
1. 最先端のスマート農業の技術開発 26 (17) 億円

○ 農業者等のニーズを踏まえ、産学官連携等により、**スマート農業に関する革新的な技術開発を支援**
(①「知」の集積と活用によるイノベーションの創出、②戦略的プロジェクト研究推進事業で実施)

2. スマート農業加速化実証プロジェクト 5 (－) 億円

○ スマート農業に関する**最先端の技術を現場に導入・実証**することにより**スマート農業技術の更なる高みを目指す**とともに、社会実装の推進に資する**情報提供等を支援**

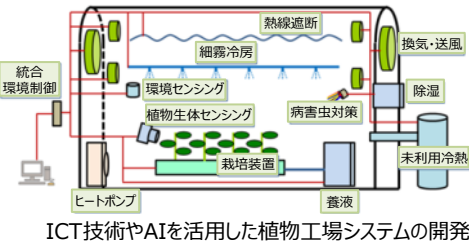
スマート農業技術の開発・実証プロジェクト【30補正】62億円の内数
○ 先端技術を生産から出荷まで一貫した体系として速やかに現場に導入・実証する取組等を支援



＜事業イメージ＞

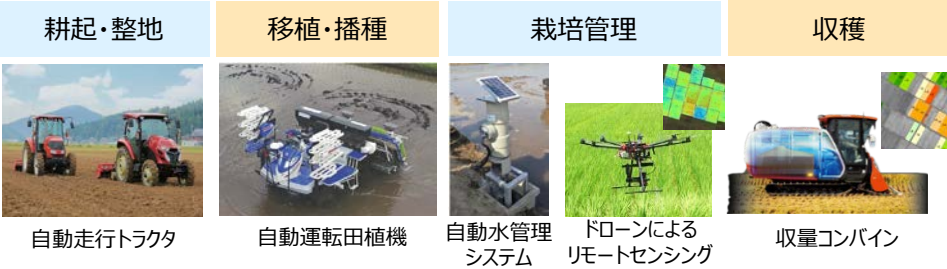
最先端のスマート農業の技術開発

○提案公募型の産学官連携による技術開発 ○国による課題設定型の技術開発



最先端のスマート農業の実証

生産から出荷までの先端技術の例



【お問い合わせ先】 農林水産技術会議事務局研究推進課 (03-6744-7043)